令和2年度(2020) 特別活動全体計画 宇都宮市立宝木中学校 生徒の実態と課題 時代や社会の要請や課題 学校の教育目標 ・明るくのびのびと活発に活動 社会全体のモラルの低下 ・家庭や地域の教育力の低下 するが、粗野である 人間尊重の教育を基盤に知・徳・体の調和のとれた発達を目指し、心身共に健康で知 社会体験、自然体験の不足 ・規範意識が低く、流されやす 性と創造性に富み、心情豊かでたくましく社会に生きる人間の育成 ・豊かな人間関係の形成 ・ネット社会におけるSNS ・人間関係を築く力が乏しい ①気力・体力のあるたくましい生徒(たくましく) 等でのトラブル ②自ら学びよく考える生徒(さとく) 学校や地域の実態と課題 ③心豊かで礼儀正しい生徒(あかるく) 教職員の願い ・仕事が忙しく、子どもとかか ④がまん強く進んで働く生徒(いきいきと) 心やさしく素直 ・望ましい人間関係を築く わる時間を十分に確保すること ・豊かな人間性や社会性の育成 が難しい家庭が多い ・自分の将来について主体的に ・保護者に卒業生が多く、学校 考え、行動できる たくましく、いきいきと生き 教育への理解はあるが、依存心 特別活動の目標 も強い 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長 保護者の願い 道徳との関連 を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうと ・健康で安全な生活、確かな学力の 保証 ・学級における役割分担と する自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方に ・自己理解をすすめ、自己の能力を 協力を通して、責任感・連 ついての自覚を深め、自己を生かす能力を養う 伸ばそうとする生徒 帯心を育て、集団生活の向 ・自分の将来について主体的に考 上を図る。 行動できるようになってほしい ・自主的な活動を通して、 生徒会活動の目標 学級活動の目標 学校行事の目標 家庭・地域等との連携 協力・奉仕・友愛の精神を 高める。 · 茶道教室、断郊競歩大会等~ 学級活動を通して、 生徒会活動を通し 学校行事を通し ・各種学校行事を通して、 の支援 望ましい人間関係を形 て、望ましい人間関 て、望ましい人間関係 協力心・愛校心・自主性・ ・地域事業所における社会体験 成し、集団の一員とし を形成し、集団や社会 |係を形成し、集団へ 公共心・奉仕の精神など、 学習 望ましい集団生活のあり方 ・PTAによるバザー開催 の一員としてよりよい の所属感や連帯感を て学級や学校における を養う。 よりよい生活づくりに |学校生活づくりに参画 |深め、公共の精神を 環境整備 総合的な学習との関連 し、協力して諸問題を 養い、協力してより 参画し、諸問題を解決 ・校舎内外の美化、緑化を通して整 理整頓や奉仕の心を養う ・総合的な学習の時間で培っ しようとする自主的、 解決しようとする自主 よい学校生活を築こ ・掲示物の工夫や施設整備、備品等 ている「自ら学び、自ら考 的、実践的な態度を育 実践的な態度や健全な うとする自主的、実 の管理を通して、学習環境の改善に え、自ら行動する」という姿 努める 勢を、特別活動のあらゆる場 生活態度を育てる 践的な態度を育てる てる 面に活かす ・「自分と社会を見つめる 人権教育との関連 力」「自ら課題を見つける 権教育で培っている「知性」「判断力」「感受 「実践力」という育てたい能力・態度を特別活動 力」「人とのコミュニケー ション、共感能力」「ものの りあらゆる場面に活かす 人権尊重の精神を踏まえて、偏見や差別のない日 見方、考え方を高める力」の な人間関係を作る態度を身につけた生徒の育成」 のごとを科学的、合理的に判断できる生徒の育 育成 「豊かな情操を持ち、集団生活の向上に尽くす生 各教科との関連 生徒指導との関連 ・特別活動において共感的な人 ・国語科の話し合い活動、言 特別活動の重点目標 間関係を育成し、生徒に自己決 語による表現や発表 社会科の調査活動 定の場や機会をより多く用意 ・生徒ひとりひとりが役割を分担し、話し合いや係活動を通して、学 各教科での問題解決やまと し、生徒が自己実現の喜びを味 わうことができるよう指導上の 級生活や学校生活の向上に努める生徒の育成 ・各教科における話し合い活 配慮を行う ・互いに認め合い、自己と集団の向上のために協力して活動できる生 特別活動実施上の留意点 その他との関連 徒の育成 ガイダンス機能の充実を図る ・学級経営の核に学級 ・自己の個性をよく理解し、集団や社会の中で自己を生かしていこう ・家庭や地域の人々との連携を図る 活動を据える ・宝木中の特色を出せるよう努める とする生徒の育成 各教科、道徳との関連を活かす ・自己の生き方や将来への目標をもち、これに向かって自主的に実践 ・生徒指導の機能を十分に活かす ・心を育てる教育を目指す していこうとする生徒の育成 各学年の指導の重点 ・中学生としてのあり方や望ましい生活をよく理解させ、中学生と ・中堅学年としての責任と自覚をもち、積極的に活動させる ・最高学年としての責任と自覚をもち、自主的、指導的な言動 ・集団において他人を尊重し、よりよい人間関係を築かせる に努めさせる しての自覚を持たせる。
・ 作用における名自の犯割を音辨し、作用の一員としての自覚を持 **社会に貢献できる准敗還切に奴めされる** 

・集たせ	団における各自の役割を意識し、集団の一員としての自覚を持る		・自己を生かし、社会に貢献できる進路選択に努めさせる
	学級活動	生徒会活動	学校行事
重点目標	・他の人の意見を尊重することで、互いに個性を大切にし、高	生に云石助 ・よりよい学校生活づくりを通して、自発的、自治的な能力を高める ・全校生徒が生徒会会員としての自覚を持ち、よりよい校風づくりに尽力できる態度を養う ・ボランティア活動等の社会参加を通して、社会貢献の精神を育む ・集団や社会の一員としてふさわしい人格と生活態度を養う	・学校行事への積極的な参加を通して、集団への所属感や連帯感を高めさせ、集団において望ましい言動ができる自主的、実践的な態度を育てる・日常の学習成果の総合、発展の場とすることで、よりよい学校生活づくりに参画させる
活動の内容	<ul><li>(1)学級や学校の生活づくりへの参画 ア、イ、ウ</li><li>(2)日常の生活や学習への適応と成長及び健康安全 ア、イ、ウ、エ、オ</li><li>(3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ア、イ、ウ</li></ul>	(1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒総会、校内パトロール、地域美化活動、校内花壇整備、 宝木中学校環境 ISO、生徒会誌発行、生徒会新聞発行、3 年生を送る会、新入生対面式、小中合同あいさつ運動など (2)学校行事への協力 文化祭、体育祭など (3)ボランティア活動などの社会参加 聾学校との交流会、高齢者介護施設でのボランティア活動、 地域の体育祭でのボランティア活動、地域の文化祭でのボラ ンティア活動	(1)儀式的行事 入学式、卒業式、始・終業式など (2)文化的行事 文化祭 (3)健康安全・体育的行事 体育祭、断郊競歩大会、身体計測など (4)旅行・集団宿泊的行事 修学旅行、冒険活動 (5)勤労生産・奉仕的行事 社会体験学習、各種学校行事の準備
本校の特色	・毎時間の評価と小中一貫教育の視点を明確にした年間指導計画 ・人間関係づくりをねらいとする社会的スキル教育等の適切な時間で	・小学校との合同による活動 ・異年齢集団によるボランティア活動 ・宝木中学校環境 I S O ・各委員会の活動を活性化して生徒会活動の充実を図 る ・生徒会執行部企画による活動	・PTAとの連携による断郊競歩大会 ・親子競技を取り入れた体育祭 ・PTAが参画する文化祭 ・学校行事後の振り返り活動の重視
時間・組織	内容(1)     内容(2)     内容(3)     計       1年     15時間     11時間     9時間     35時間       2年     12時間     12時間     11時間     35時間       3年     14時間     10時間     11時間     35時間	朔10月〜3月の二期間とする	1年     9     3     9     3     3     27       2年     10     3     9     0     19     41       3年     10     3     9     3     2     27

・生徒会執行部や各種の委員会が、全校生徒対象にア

ンケート調査を行い、活動の見直しと改善を図る

・評価結果を分析し、次なる取り組みに活かす

事後の感想文や発表会で活動の成果と課題を生徒が相

・担当者が教師対象に企画から事後の事務処理に至るま

でのアンケート調査を行い、結果を分析し、次なる取り

互評価する

考・判断・実践」「集団活動や生活についての知識・理解」の三つの評価の観点を設け、それらごとに評価規準を作成して評価する。

・学級活動は担任、生徒会活動は専門委員会顧問および担任、学校行事は専門委員会顧問および担任が評価する。

・事前から事後の活動までの過程で、生徒の変容を促す手だて

・集団決定や自己決定をした内容の実践の成果と課題を自己評

価や相互評価、教師による観察等で評価し、よりよい実践につ

価

を講じる

なげる